

平成29年度第2回入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成30年3月15日(木) 海上保安庁会議室(11階)	
委員	委員長	堀江 正之 : 日本大学商学部教授
	委員	尾花 眞理子 : 弁護士
	委員	郷田 桃代 : 東京理科大学工学部教授
抽出案件		<備考>
工事	0件	委員会開催にあたり 委員長に 堀江 正之 委員 を選任した。
(小計)一般競争	0件	
公募型及び工事希望型指名競争	-	
指名競争	-	
随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	0件	
物品又は役務等	4件	
合計	4件	
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

委 員	海 上 保 安 庁
<p>1. 入札・契約手続の運用状況及び指名停止 運用状況並びに入札結果等 意見等なし</p>	
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p><役務：一般競争契約> 「千歳航空基地除雪作業」（第一管区）</p> <p>落札率が 100%だが、入札参加希望者は何者 いたのか。</p> <p>金額の参考として、一般的な除雪を行って いる他者に見積を依頼できないだろうか。</p>	<p>1 者である。落札者も同じ者である。 空港全体の滑走路等を除雪する契約を 航空局と締結している業者が落札した。</p> <p>一般的な除雪と違い、即応体制の維持 のため迅速な対応が常に求められるな ど、対応可能な業者が限られる。また、 参加の意思がない業者にこの業務の参 考見積を依頼しても、応じてくれないの が実情である。</p>
<p><役務：一般競争契約> 「プレハブ借上」（第十一管区）</p> <p>借り上げ期間は 1 ヶ月ということによろし いか。</p> <p>年度をまたいでの調達は難しいとは理解し ているが、想定される複数年の借上予定期間 を前提に契約できれば、競争性が増し価格も 抑えられたのではないか。</p>	<p>本契約では 1 ヶ月の借上期間である。 今般、継続の見込となり、改めて 1 年間の 契約のための手続きを行っている。</p>

	<p>今回は、借上期間の想定が出来ず、検討した結果単年度契約とすることが妥当と判断した。</p>
<p><役務：一般競争契約> 「自律型遠隔地沿岸情報配信サービス」（本庁）</p> <p>仕様を広く公開することができない秘匿性を持った案件という理解でよいか。</p>	<p>そのとおりである。可能な限りオープンに募りたい一方で、仕様の秘匿性を確保しなくてはならないので、入札の公告に対して応札希望を示した業者だけに仕様の詳細を開示するという手法をとっている。</p>
<p><役務：一般競争契約> 「海域情報提供サービス」（本庁）</p> <p>さきほどの「自律型遠隔地沿岸情報配信サービス」と用途は別なのだろうか。</p> <p>入札に際し1者だけが参考見積から大きく値下げしたというのはどのような理由によるのか。</p>	<p>当初の構想としては両方の契約を一体的にというものであったが市場調査の結果、より競争性を確保するため別個の契約にしている。</p> <p>他の案件と工数を共有できるという判断や、官公庁との契約実績を重視しなかったという面もあったと聞いている。また総合評価であったので、高得点を取るより仕様を満たす中で低価格に抑えた方がよいという判断があったということもあると思う。</p>

審議の結果

入札・契約手続きは適切に行われている。

助言として、大型案件、あるいは新たな案件においては、価格の妥当性という面から、市場の動向の情報収集を一層行ってもらいたい。

また、総合評価方式を利用した案件が今後審議案件として抽出された際には、評価基準及び結果についても資料として添付をお願いしたい。